

獣医学教育において必要とされる教育内容と、その履修状況について

1 講義

分野	科目	必要とされる履修内容	単位数	16大学の履修状況			
				○	△	×	-
獣医学概論		1 獣医史(近代までの獣医学・獣医療の歴史、国内・国外)	2	2	0	14	0
		2 獣医史(現代までの獣医学・獣医療の歴史、20世紀の変遷)		2	1	13	0
		3 OIE(国際獣疫事務局、WOAH)の機構・役割と各国の獣医師の役割、veterinary service		1	4	11	0
		4 FAO(国連、世界食糧農業機構)の機構、ミッションと獣医師の役割(食品安全)		1	1	14	0
		5 WHO(世界保健機構)と獣医師の役割(感染症統御)		1	2	13	0
		6 食糧安定供給・安全性確保と獣医師の役割(農林水産省の機構概要)		9	7	0	0
		7 感染症、食品衛生と獣医師の役割(厚生労働省の機構概要)		11	5	0	0
		8 野生動物、環境保全、生物多様性と獣医師の役割(環境省の機構概要)		9	6	1	0
		9 小動物獣医師の役割と業務		15	1	0	0
		10 産業動物獣医師の役割と業務		14	2	0	0
		11 展示用動物と獣医師の役割、展示法、動物園動物の保健と管理		5	6	5	0
		12 学校飼育動物と獣医師の役割、獣医師の社会活動、学校飼育動物の環境衛生		1	1	14	0
		13 公務員獣医師の役割と業務		13	2	1	0
		14 研究所、企業で活躍する獣医師の役割、高度研究の推進、生命科学と獣医師		7	7	2	0
		15 獣医師の社会的役割(動物、ヒト、環境)、動物の愛護・福祉の組織と業務		11	4	1	0
獣医法規		1 獣医師法、獣医療法(放射線取扱)	2	14	2	0	0
		2 家畜伝染病予防法、家畜衛生保健所法		15	1	0	0
		3 家畜改良増殖法(人工授精師関連)		8	3	5	0
		4 狂犬病予防法(厚労省も兼ねる)、犬の登録		15	1	0	0
		5 生物多様性(カルタヘナ条約、文部科学省も兼ねる)、遺伝子組換え		3	9	4	0
		6 肥飼料安全法		10	3	3	0
		7 薬事法(動物用医薬品取締規則)・農薬取締法・化学物質審査規制法・毒劇法		16	0	0	0
		8 感染症法(獣医師の届出義務、農水省の検疫を含む)、病原体取扱い基準		14	2	0	0
		9 JAS法、トレーサビリティ法、GAP,PL法		11	5	0	0
		10 食品衛生法、と畜場法(輸入食品検疫を含む)、食鳥処理に関する法律		15	1	0	0
		11 国際基準:HACCP、ISO、CODEX基準(FAO,WHO)		10	6	0	0
		12 麻薬取締法、向精神薬他		3	1	12	0
		13 動物の愛護と管理に関する法律、動物の飼養と管理基準、動物実験基準・指針		14	2	0	0
		14 有害鳥獣法、特定動物(ワシントン条約も含む)		8	6	2	0
		15 環境基本法(環境安全基準)		15	0	1	0
獣医倫理		1 生命倫理(ヒトを含めた生命倫理の概要)、国内外の生命倫理の歴史	2	10	1	5	0
		2 動物倫理(ヒトと動物のあり方)、国内外の動物倫理の歴史		10	2	4	0
		3 動物の愛護と福祉(理論と実践、OIEの基準)		12	3	1	0
		4 安楽死、異種移植、医療への動物応用		5	3	8	0
		5 ペット動物とヒトの関係、日本獣医師会の倫理綱領		9	6	1	0
		6 産業動物とヒトの関係(福祉)、遺伝子操作(クローン)動物と生産		8	5	3	0
		7 動物園動物、博物館展示とヒト(生物資源保存、遺体科学を含む)		8	2	6	0
		8 実験動物とヒトの関係(研究資源、モデルと外挿)、臨床治験と法・基準		13	3	0	0
		9 野生動物と環境(one world one health、両性類・爬虫類も含む)		13	1	2	0
		10 学校飼育動物と生命教育(情操)		0	1	15	0
		11 エコロジー、生物多様性、ヒトと生物の共存・共生		9	5	2	0
		12 進化の隣人:類人猿、ヒトと動物の共通点、ヒトの特殊性		2	5	9	0
		13 海洋哺乳類(クジラとヒト)、海洋動物と環境保全		5	2	9	0
		14 森林環境、動物生態と保全		6	1	9	0
		15 動物介在療法・補助動物(人体器官代替動物)と獣医師の役割		10	6	0	0
解剖学		1 体の部位、断面、体位を示す用語	3	16	0	0	0
		2 骨学Ⅰ(頭部、体幹の骨)		16	0	0	0
		3 骨学Ⅱ(前肢、後肢の骨)		16	0	0	0
		4 関節学		12	4	0	0
		5 筋学Ⅰ(頭部、体幹の筋)		16	0	0	0
		6 筋学Ⅱ(前肢、後肢の筋)		16	0	0	0
		7 内臓学Ⅰ(消化器系Ⅰ/口腔、歯、消化管)		16	0	0	0
		8 内臓学Ⅱ(消化器系Ⅱ/消化腺)		16	0	0	0
		9 内臓学Ⅲ(呼吸器系)		16	0	0	0
		10 内臓学Ⅳ(泌尿器系)		16	0	0	0
		11 内臓学Ⅴ(生殖器系)		16	0	0	0
		12 内臓学Ⅵ(リンパ系)		15	1	0	0
		13 内臓学Ⅶ(内分泌系)		15	1	0	0
		14 内臓学Ⅷ(感覚器系)		15	1	0	0
		15 内臓学Ⅷ(外皮)		15	0	1	0
		16 脈管学Ⅰ(心臓・血管系)		16	0	0	0
		17 脈管学Ⅱ(毛細血管・リンパ管系)		16	0	0	0
		18 神経学Ⅰ(中枢神経系)		16	0	0	0
		19 神経学Ⅱ(末梢神経系)		16	0	0	0
		20 鶏の解剖学		11	0	5	0

組織学	1	細胞の構造	2	11	1	4	0
	2	上皮組織・結合組織・支持組織	2	16	0	0	0
	3	筋組織・神経組織	2	16	0	0	0
	4	血液・リンパ・骨髄	2	14	0	2	0
	5	心臓・血管・リンパ管	2	15	0	1	0
	6	リンパ器官	2	13	1	2	0
	7	消化器系Ⅰ(歯・消化管)	2	13	0	3	0
	8	消化器系Ⅱ(唾液腺・肝臓・膵臓)	2	13	0	3	0
	9	呼吸器系	2	13	0	3	0
	10	泌尿器系	2	13	0	3	0
	11	雄性生殖器官	2	13	0	3	0
	12	雌性生殖器官	2	13	0	3	0
	13	内分泌系	2	13	0	3	0
	14	感覚器	2	12	0	4	0
	15	神経系・外皮	2	16	0	0	0
発生学	1	始原生殖細胞の移動・精子発生と卵子発生・受精と卵割	1	13	2	1	0
	2	原腸胚期	1	15	0	1	0
	3	外胚葉の分化	1	15	0	1	0
	4	中胚葉の分化Ⅰ(骨格筋・結合組織・泌尿生殖器・副腎の発生)	1	15	0	1	0
	5	中胚葉の分化Ⅱ(性分化・体腔の形成)	1	15	0	1	1
	6	内胚葉の分化	1	15	0	1	0
	7	血管の発生	1	15	0	1	0
	8	胎盤形成と機能	1	10	2	4	0
生理学	1	一般生理学(ホメオスタシス/体液平衡)	4	12	4	0	0
	2	細胞生理学(膜輸送/膜電位)	4	16	0	0	0
	3	細胞生理学(受容体/細胞内情報伝達)	4	13	3	0	0
	4	中枢神経(大脳/小脳)	4	14	1	1	0
	5	中枢神経(間脳/中脳/橋/延髄)	4	14	2	0	0
	6	中枢神経(脊髄/反射)	4	15	1	0	0
	7	末梢神経(体性神経)	4	15	1	0	0
	8	末梢神経(自律神経)	4	16	0	0	0
	9	運動(骨格筋/平滑筋)	4	15	1	0	0
	10	感覚(一般感覚)	4	11	1	4	0
	11	感覚(特殊感覚)	4	13	0	3	0
	12	内分泌(成長/基礎代謝調節)	4	15	1	0	0
	13	内分泌(血糖調節)	4	15	1	0	0
	14	内分泌(ストレス反応)	4	15	1	0	0
	15	内分泌(水/電解質代謝調節)	4	15	1	0	0
	16	内分泌(カルシウム代謝調節)	4	16	0	0	0
	17	消化・吸収(消化管機能調節)	4	16	0	0	0
	18	消化・吸収(非発酵的過程)	4	16	0	0	0
	19	消化・吸収(発酵的過程)	4	14	2	0	0
	20	代謝(吸収栄養素の利用)	4	11	5	0	0
	21	血液(血液細胞)	4	15	1	0	0
	22	血液(血漿タンパク質/血液凝固)	4	15	1	0	0
	23	呼吸(肺機能)	4	15	0	1	0
	24	呼吸(呼吸調節)	4	15	0	1	0
	25	循環(心血管運動)	4	16	0	0	0
	26	循環(血圧調節)	4	16	0	0	0
	27	排泄(尿生成)	4	16	0	0	0
	28	排泄(水分/酸塩基平衡)	4	15	1	0	0
	29	生殖(生殖周期/雌性生殖)	4	16	0	0	0
	30	生殖(雄性生殖)	4	15	1	0	0
生化学	1	生体構成分子	4	12	3	1	0
	2	生体膜の構造	4	13	1	2	0
	3	糖質の構造	4	14	1	1	0
	4	脂質の構造	4	14	1	1	0
	5	タンパク質の構造	4	15	0	1	0
	6	核酸の構造	4	15	1	0	0
	7	ビタミン	4	10	2	4	0
	8	水/電解質/微量元素	4	10	2	4	0
	9	酵素反応	4	12	1	3	0
	10	中間代謝/生体エネルギー	4	13	1	2	0
	11	糖質の代謝Ⅰ(解糖系)	4	14	0	2	0
	12	糖質の代謝Ⅰ(クエン酸系)	4	13	1	2	0
	13	脂質の代謝	4	14	0	2	0
	14	アミノ酸と窒素化合物の代謝	4	13	2	1	0
	15	ヌクレオチドの代謝	4	13	2	1	0
	16	代謝の臓器相関	4	8	2	6	0
	17	遺伝情報/遺伝子の構成	4	15	0	1	0
	18	DNA複製/組換え/修復	4	14	0	2	0
	19	転写/RNAプロセッシング	4	14	0	2	0
	20	翻訳/翻訳後修復	4	14	0	2	0
	21	遺伝子発現制御	4	13	2	1	0
	22	組換えDNA技術	4	9	0	7	0

基礎獣医学分野	動物育種学	23 細胞間情報伝達物質	9	1	6	0
		24 情報伝達物質受容体	8	2	6	0
		25 細胞内情報伝達物質	9	1	6	0
		26 比較生化学と疾病	7	2	7	0
		27 反芻動物の代謝	8	2	6	0
		28 血液/尿の臨床生化学	3	4	9	0
		29 酸塩基平衡/緩衝液	4	2	10	0
	30 薬物代謝と解毒	10	3	3	0	
	動物育種学	1 野生動物の家畜化・品種の分化	13	2	0	1
		2 家畜の遺伝学	14	1	0	1
		3 量的変異の分析法	12	3	0	1
		4 育種・選抜法	14	1	0	1
		5 交配法と雑種強勢	11	4	0	1
		6 各家畜の育種	10	5	0	1
		7 発生工学	9	3	3	1
	動物行動学	1 動物行動学序論	12	0	3	1
		2 動物行動学の基本概念	11	1	3	1
		3 行動の起こる仕組み	9	2	4	1
		4 家畜化による行動変化	7	1	7	1
		5 行動の発達	8	3	4	1
		6 行動と生殖戦略	8	3	4	1
		7 性行動と育仔行動	10	1	4	1
		8 維持行動	7	3	5	1
		9 群れの構造と社会的行動	11	2	2	1
		10 攻撃行動と親和行動	5	6	4	1
		11 コミュニケーション行動	8	2	5	1
		12 脳と行動	7	2	6	1
		13 行動の学習原理	8	1	6	1
		14 動物行動医学概論	7	0	8	1
		15 行動治療学序論	7	0	8	1
薬理学	1 薬理学の概念	16	0	0	0	
	2 薬理作用	16	0	0	0	
	3 薬物動態学	16	0	0	0	
	4 有害作用	16	0	0	0	
	5 医薬品の基準と開発	15	1	0	0	
	6 薬物治療における基本姿勢	16	0	0	0	
	7 コリン作動薬および遮断薬	16	0	0	0	
	8 神経筋接合部遮断薬(筋弛緩薬)	15	1	0	0	
	9 自律神経節に作用する薬物	16	0	0	0	
	10 アドレナリン作動薬および遮断薬	16	0	0	0	
	11 麻酔薬(局所麻酔薬を含む)	16	0	0	0	
	12 鎮静・睡眠薬	16	0	0	0	
	13 鎮痛薬	16	0	0	0	
	14 抗痙攣薬	16	0	0	0	
	15 向精神薬(精神安定薬)	16	0	0	0	
	16 中枢神経興奮薬	16	0	0	0	
	17 呼吸作用薬	14	2	0	0	
	18 オータコイドとその拮抗薬	16	0	0	0	
	19 抗炎症薬	16	0	0	0	
	20 循環系に作用する薬物	16	0	0	0	
	21 血液に作用する薬物	16	0	0	0	
	22 塩類代謝と腎機能に影響する薬物	15	1	0	0	
	23 消化器機能に影響する薬物	16	0	0	0	
	24 ホルモン・抗ホルモン薬、ビタミン	15	0	1	0	
	25 免疫機能に影響する薬物	15	1	0	0	
	26 消毒薬	10	0	6	0	
	27 化学療法薬、抗真菌薬および抗悪性腫瘍薬	15	0	1	0	
	28 駆虫薬	11	1	4	0	
	29 殺虫薬	11	0	5	0	
	30 重金属拮抗薬	8	2	6	0	
病理学	1 病因	16	0	0	0	
	2 病理学の方法	16	0	0	0	
	3 退行性変化	16	0	0	0	
	4 進行性変化	16	0	0	0	
	5 循環障害	16	0	0	0	
	6 炎症細胞	16	0	0	0	
	7 炎症の種類	16	0	0	0	
	8 腫瘍の原因	16	0	0	0	
	9 腫瘍の種類	16	0	0	0	
	10 先天異常・奇形	16	0	0	0	
	11 感染病理	16	0	0	0	
	12 免疫病理	16	0	0	0	
	13 分子病理学的手法	16	0	0	0	
	14 毒性病理学の基礎	15	1	0	0	
	15 毒性病理学の応用	15	1	0	0	
	16 循環器系の病変	16	0	0	0	
	17 造血管系の病変	16	0	0	0	
	18 呼吸器系の病変	16	0	0	0	
	19 消化器系の病変	16	0	0	0	
	20 肝・膵の病変	16	0	0	0	
	21 泌尿器系の病変	16	0	0	0	
	22 生殖器系の病変	16	0	0	0	
	23 内分泌系の病変	16	0	0	0	
	24 神経系の病変	16	0	0	0	
	25 感覚器系の病変	16	0	0	0	
	26 筋肉の病変	16	0	0	0	
	27 骨の病変	16	0	0	0	
	28 皮膚の病変	16	0	0	0	

	29 超微形態病理学		11	5	0	0
	30 野生動物の病理学		1	1	14	0
免疫学	1 免疫学の概説	2	12	1	2	1
	2 免疫系の系統発生と個体発生、免疫組織		12	0	3	1
	3 抗原と抗体、補体とその働き		12	1	2	1
	4 リンパ球、食細胞、顆粒球の分化とその機能		12	1	2	1
	5 抗原提示細胞と抗原提示		12	0	3	1
	6 B細胞の分化と機能		12	0	3	1
	7 T細胞の分化と機能		12	0	3	1
	8 免疫系の比較生物学		9	2	4	1
	9 サイトカイン		13	0	2	1
	10 炎症		12	1	2	1
	11 アレルギー		13	0	2	1
	12 感染免疫と腫瘍免疫		13	0	2	1
	13 輸血と移植免疫、生殖免疫、母子免疫		10	2	3	1
	14 自己免疫病、免疫不全		12	1	2	1
	15 免疫系と神経・内分泌系の相互作用		7	3	5	1
実験動物学	1 実験動物学序説(定義、歴史、倫理、法規)	2	16	0	0	0
	2 動物実験の基本的技術(保定、投与、試料採取、麻酔、安楽死)		16	0	0	0
	3 動物実験のデザインと成績の評価		16	0	0	0
	4 実験動物の遺伝学		16	0	0	0
	5 実験動物の育種		16	0	0	0
	6 実験動物の繁殖		16	0	0	0
	7 実験動物の飼育管理		16	0	0	0
	8 実験動物の特性(1)マウス、ラット		16	0	0	0
	9 実験動物の特性(2)ハムスター類、スナネズミ、モルモット、ウサギ		15	0	1	0
	10 実験動物の特性(3)イヌ、ブタ(ミニブタ)、サル類、その他の実験動物		11	5	0	0
	11 実験動物の感染症(1)感染症学総論、細菌感染症		14	2	0	0
	12 実験動物の感染症(2)ウイルス感染症、原虫感染症、寄生虫感染症		14	2	0	0
	13 疾患モデル動物(1)総論、主な疾患モデル動物		16	0	0	0
	14 発生工学		13	2	1	0
	15 動物実験代替法		7	3	6	0
微生物学	1 微生物学の歴史	3	13	3	0	0
	2 微生物の分類と進化		15	1	0	0
	3 微生物の形態と構造、栄養、代謝、増殖		15	1	0	0
	4 微生物の遺伝と変異		15	1	0	0
	5 微生物の病原性と宿主応答		14	2	0	0
	6 微生物感染と免疫		12	4	0	0
	7 微生物感染の診断、予防、ワクチン、化学療法		14	2	0	0
	8 グラム陽性球菌と桿菌		15	1	0	0
	9 グラム陰性球菌と桿菌		15	1	0	0
	10 真菌、ラセン菌およびスピロヘータ		16	0	0	0
	11 リケッチアとクラミジア		16	0	0	0
	12 ウイルスの一般性状、遺伝、培養		16	0	0	0
	13 ウイルス感染症の疫学、診断、予防		15	1	0	0
	14 ポックスウイルス、アスファウイルス、イリドウイルス、ヘルペスウイルス		14	2	0	0
	15 アデノウイルス、ポリオマウイルス、パピローマウイルス、サーコウイルス		15	1	0	0
	16 パルボウイルス、ヘパドナウイルス、レオウイルス、ビルナウイルス、		15	1	0	0
	17 ポルナウイルス、フィロウイルス、パラミクソウイルス、ラブドウイルス		15	1	0	0
	18 オルトミクソウイルス、フニヤウイルス、アレナウイルス、		15	1	0	0
	19 ピコルナウイルス、カリシウイルス、アストロウイルス、ノダウイルス		15	1	0	0
	20 コロナウイルス、アルテリウイルス、フラビウイルス、トガウイルス		15	1	0	0
	21 レトロウイルス、プリオン		15	1	0	0
	22 原虫病の診断、予防、治療		1	1	13	1
家禽疾病学	1 鳥類の解剖、生理	1	6	3	7	0
	2 鳥類の生体防御機構と免疫		8	5	3	0
	3 鳥類の感染症の診断、治療、予防、		9	6	1	0
	4 鳥類のウイルス性疾患		14	2	0	0
	5 鳥類の細菌性疾患		14	2	0	0
	6 鳥類の寄生虫性疾患		10	3	3	0
	7 家禽産業と衛生対策		7	7	2	0
魚病学	1 水産学と魚病学の概説	1	12	3	1	0
	2 水生動物の解剖、生理、免疫		12	3	1	0
	3 水生動物疾病の診断と防疫、魚介類毒素		11	5	0	0
	4 ウイルス性疾患		16	0	0	0
	5 細菌性疾患、真菌性疾患		16	0	0	0
	6 原生動物性疾患		15	1	0	0
	7 環境性疾患、非感染性疾患		14	2	0	0
野生動物学	1 野生動物の生態と環境	1	11	2	0	3
	2 生物多様性と倫理		6	5	2	3
	3 野生動物の解剖、生理		6	6	1	3
	4 野生動物の疾病(ウイルス病性疾患)		2	8	3	3
	5 野生動物の疾病(細菌性疾患、原生動物性疾患)		2	8	3	3
	6 野生動物の救護		11	1	1	3
	7 野生動物の管理と関連法規		8	1	4	3
毒性学	1 毒性学概要:毒性作用の概念、毒性の種類、毒性区分、防御機構	2	16	0	0	0
	2 毒性試験の計画と実施方法:GLP、毒性評価試験系、試験方法		13	2	1	0
	3 化学物質の生体内動態:吸収、分布、代謝、排泄、コンパートメントモデル		14	0	2	0
	4 化学物質による毒性発現のメカニズム:医薬品、食品添加物、天然毒		7	4	5	0
	5 一般毒性と特殊毒性とその試験法:一般毒性試験、急性毒性、慢性毒性		12	1	3	0
	6 変異原性:変異原性試験、DNA障害		14	0	2	0
	7 催腫瘍性:発癌性物質と発癌性試験		13	1	2	0
	8 生殖発生毒性:先天異常、催奇形性、催奇形性試験		14	1	1	0
	9 その他の特殊毒性:吸入毒性、経皮毒性、遅発性神経毒性、感覚器毒性とそれらの試験		13	1	2	0
	10 器官および機能毒性:肝毒性、消化器毒性他		10	1	5	0
	11 器官および機能毒性:腎毒性、呼吸器毒性他		10	1	5	0
	12 器官および機能毒性:循環器毒性、神経毒性他		10	1	5	0
	13 器官および機能毒性:血液毒性、免疫毒性、内分泌毒性他		9	1	6	0

応用獣医学分野	動物衛生学	14 化学物質のリスクアセスメント	3	0	13	0
		15 環境毒性:汚染物質による生態系への影響と環境影響評価法	14	1	1	0
		1 総論:動物衛生と衛生学、動物衛生の意義と役割、動物衛生学の特徴	15	0	0	1
		2 疾病予防(総論):産業動物疾病の現状、予防の目的と方法	8	4	3	1
		3 疾病予防(疫学と防疫):疫学概念と方法、感染症と非感染症の疫学、防疫の原則	13	2	0	1
		4 疾病予防(消毒):殺菌、滅菌および消毒の定義、病原微生物の抵抗性、滅菌方法、他	10	2	3	1
		5 疾病予防(予防接種):伝染病の予防措置と予防接種、ワクチン、アジュバント、他	10	1	4	1
		6 疾病予防(衛生動物の駆除):衛生動物の分類と生態、衛生害虫による害と防除	10	0	5	1
		7 管理衛生(総論・畜舎衛生):産業動物の管理形態、畜舎の環境と衛生対策	11	4	0	1
		8 管理衛生(畜舎衛生:牛):乳牛と肉用牛の管理衛生	13	2	0	1
		9 管理衛生(畜舎衛生:豚と鶏):豚の管理衛生と鶏の管理衛生	11	3	1	1
		10 管理衛生(放牧衛生と輸送衛生):放牧環境と管理、放牧病、産業動物の輸送衛生他	13	1	1	1
		11 飼養衛生(総論、飼養):家畜の生産性向上と生産病の発生、他	11	2	2	1
		12 飼養衛生(飼料と栄養障害):飼料の分類、エネルギー欠乏症と過剰症、他	8	5	2	1
		13 飼養衛生(代謝障害):エネルギー代謝障害、ミネラル代謝障害他	8	3	4	1
14 飼養衛生(中毒):動物飼養衛生における中毒、最近みられる植物中毒	10	1	4	1		
15 伴侶動物の管理衛生:伴侶動物の飼育管理・飼養管理、中毒	1	1	13	1		
応用獣医学分野	動物感染症学	1 総論:感染症の発生要因・流行機序と予測	13	3	0	0
		2 総論:感染症の予防と防疫	13	2	1	0
		3 産業動物のウイルス性感染症	15	1	0	0
		4 産業動物のリケッチャ/クラミジア感染症	12	3	1	0
		5 産業動物の細菌性感染症	14	1	1	0
		6 産業動物の真菌性感染症	11	2	3	0
		7 産業動物の原虫性感染症	12	3	1	0
		8 新興・再興感染症	1	1	14	0
		1 寄生虫総論:一般性状、寄生現象、発育と増殖	16	0	0	0
		2 寄生虫病学総論:病原性、寄生虫学的検査、診断、治療、予防、疫学	8	5	3	0
		3 原虫類総論:原虫類の分類、形態、生活環、発育、感染様式	12	4	0	0
		4 肉質鞭毛虫類:赤痢アメーバ、トリパノソーマ、リユーシマニア、ジアルジア他	14	2	0	0
		5 アピコンプレックス類、微胞子虫類:コクシジウム、トキソプラズマ、ロイコチトゾーン他	15	1	0	0
		6 繊毛虫類:バクストネラ、パラチジウム他	10	0	6	0
		7 嚢虫類総論:原虫類の分類、形態、生活環、発育、感染様式	13	3	0	0
8 吸虫類:日本住血吸虫、肝蛭、肺吸虫、棘口吸虫他	16	0	0	0		
9 鉤頭虫類:大鉤頭虫他	11	1	4	0		
10 条虫類:テニア条虫、裸頭条虫、ダベン条虫、二孔条虫、裂頭条虫	16	0	0	0		
11 線虫類:鞭虫、回虫、糞線虫、肺虫、眼虫他	16	0	0	0		
12 節足動物総論:原虫類の分類、形態、生活環、発育、感染様式	9	6	1	0		
13 ダニ類:マダニ、ツメダニ、毛包虫、ツツガムシ、疥癬他	15	0	1	0		
14 昆虫類:カ、ヌカカ、ハエ、ノミ、シラミ他	13	0	3	0		
15 寄生性皮膚疾患:パラフィリア症、沖縄糸状虫症、マダニ症、鶏ダニ症、ツメダニ症他	13	3	0	0		
応用獣医学分野	公衆衛生学総論	1 公衆衛生学の考え方と概要	13	2	0	1
		2 獣医公衆衛生学の役割と課題	14	1	0	1
		3 国民衛生の動向(指標、人口動態、生命表)	10	1	4	1
		4 動物の共生と公衆衛生	3	2	10	1
		5 公衆衛生行政(行政組織)	10	1	4	1
		6 公衆衛生行政(法規)	12	0	3	1
		7 感染症とその対策	9	4	2	1
		1 食品衛生の概念	16	0	0	0
		2 食中毒と食品媒介性感染症(感染源と汚染経路)	10	2	4	0
		3 ウイルス性食中毒(ウイルス性胃腸炎ほか)	9	2	5	0
		4 細菌性食中毒Ⅰ(コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、腸炎ビブリオ、サルモネラ)	11	4	1	0
		5 細菌性食中毒Ⅱ(病原大腸菌、ブドウ球菌、ボツリヌス、ウエルシュ菌)	11	4	1	0
		6 細菌性食中毒Ⅲ(カンピロバクター、リステリア、、エルシニア・エンテロコリテイカ)	11	4	1	0
		7 細菌性食中毒Ⅳ(セレウス、Non-O1ビブリオ、アエロモナス、ビブリオ・フルビアリスほか)	11	4	1	0
		8 自然毒やカビ毒	12	2	2	0
9 食品微生物:腐敗と変敗	12	1	3	0		
10 食品の微生物制御と食品添加物	13	1	2	0		
11 物理化学的有害因子と健康被害(食品公害)	5	2	9	0		
12 食品の衛生管理(HACCP)	12	3	1	0		
13 乳・乳製品の衛生	11	2	3	0		
14 食肉の衛生、食鳥肉の衛生	12	2	2	0		
15 食卵の衛生、魚介類の衛生	10	4	2	0		
応用獣医学分野	環境衛生学	1 環境衛生の概要(人と動物)	12	3	0	1
		2 生活環境Ⅰ(大気環境、水環境、土壌環境、廃棄物)	11	3	1	1
		3 生活環境Ⅱ(浄水と終末処理、活性汚泥法)	11	3	1	1
		4 地域環境問題Ⅰ(公害:大気汚染、水質汚濁)	10	2	3	1
		5 地域環境問題Ⅱ(公害:悪臭、騒音、振動、地盤沈下)	8	1	6	1
		6 地球環境問題Ⅰ(温暖化)	3	7	5	1
		7 地球環境問題Ⅱ(オゾン層の破壊、砂漠化など)	4	6	5	1
		8 地球環境問題Ⅲ(生物多様性、海洋汚染、廃棄物の越境問題)	5	4	6	1
		9 その他の環境問題(放射能汚染、内分分泌攪乱物質)	5	3	7	1
		10 衛生動物(防除、防除のための環境対策)	9	0	6	1
		11 環境因子と人体(生体防御、暴露:吸収、体内動態)	2	2	11	1
		12 環境因子と動物(ストレスと適応)	4	0	11	1
		13 環境衛生分析(分析方法、データの評価)	0	0	15	1
		14 環境影響評価と保全技術(環境アセスメント)	3	1	11	1
		15 環境衛生関連法規	6	4	5	1
応用獣医学分野	人獣共通感染症学	1 人獣共通感染症の定義と概要(バイオハザード、病原体の危険度分類)	15	1	0	0
		2 ウイルス性感染症Ⅰ(狂犬病、Bウイルス感染症ほか)	12	4	0	0
		3 ウイルス性感染症Ⅱ(ウイルス性出血熱ほか)	12	4	0	0
		4 ウイルス性感染症Ⅲ(アルボウイルス感染症ほか)	12	4	0	0
		5 ウイルス性感染症Ⅳ(パラミクソウイルス感染症ほか)	13	3	0	0
		6 ウイルス性感染症Ⅴ(鳥インフルエンザほか)	12	4	0	0
		7 ウイルス性感染症Ⅵ(ハンタウイルス感染症、プリオン病)	12	4	0	0
		8 リケッチャ・クラミジア性感染症(オウム病ほか)	13	3	0	0
		9 細菌性感染症Ⅰ(ペストほか)	12	4	0	0
		10 細菌性感染症Ⅱ(炭疽ほか)	12	4	0	0
		11 細菌性感染症Ⅲ(ブルセラ病ほか)	12	4	0	0

	12 細菌性感染症Ⅳ(野兔病ほか)		12	4	0	0
	13 原虫性感染症(トキソプラズマ病ほか)		12	3	1	0
	14 真菌性感染症(皮膚糸状菌症ほか)		10	3	3	0
	15 寄生虫性感染症(エキノコックス症ほか)		13	3	0	0
獣医学	1 疫学の概要(目的、特色、指標)	2	15	0	0	1
	2 疫学の基礎Ⅰ(疫学資料)		4	1	10	1
	3 疫学の基礎Ⅱ(統計手法)		7	3	5	1
	4 信頼性と妥当性(変動、誤差)		5	2	8	1
	5 標本調査		4	3	8	1
	6 記述疫学(記述要因、仮説の設定)		2	10	3	1
	7 分析疫学(症例対照研究)		3	10	2	1
	8 分析疫学Ⅱ(コホート研究)		3	10	2	1
	9 分析疫学Ⅲ(横断研究、生態学的研究)		3	9	3	1
	10 介入疫学とその他の疫学研究(分子疫学、血清疫学)		4	8	3	1
	11 因果関係、サーベイランス、スクリーニング		10	0	5	1
	12 リスク分析		8	0	7	1
	13 感染症の疫学		12	0	3	1
	14 非感染症の疫学		9	1	5	1
	15 臨床疫学(経済評価)		4	1	9	2
内科学 総論	1 診断の手順、診療記録	1	13	2	0	1
	2 問診		14	0	1	1
	3 一般身体検査		14	1	0	1
	4 主要徴候(呼吸器、循環器、消化器)		4	5	6	1
	5 主要徴候(泌尿器、神経、運動器、皮膚、眼科)		4	5	6	1
	6 輸液療法		13	1	1	1
	7 薬物による病態制御		6	1	9	0
皮膚病学	1 皮膚疾患の臨床徴候	2	13	1	0	2
	2 皮膚疾患の診断		14	0	0	2
	3 皮膚疾患の治療		13	1	0	2
	4 外部寄生虫性皮膚疾患		14	0	0	2
	5 細菌性および真菌性皮膚疾患		14	0	0	2
	6 アレルギー性皮膚炎		14	0	0	2
	7 免疫介在性皮膚疾患		13	1	0	2
	8 角化異常性疾患、心因性皮膚疾患		11	3	0	2
	9 先天性および遺伝性皮膚疾患		11	3	0	2
	10 脱毛症		14	0	0	2
	11 腫瘍性皮膚疾患		12	2	0	2
	12 皮膚の形成術		3	3	9	1
	13 皮膚の移植		2	3	10	1
	14 牛・馬の皮膚疾患		9	4	1	2
	15 豚・綿山羊の皮膚疾患		8	5	1	2
神経病学	1 神経疾患の検査と診断	1	13	1	0	2
	2 脳の疾患(変性性、先天性)		12	2	0	2
	3 脳の疾患(炎症性、感染性)		11	3	0	2
	4 脳の疾患(てんかん、外傷性・血管障害性)		11	3	0	2
	5 脊髄の疾患(先天性、損傷性、炎症性)		12	2	0	2
	6 末梢神経系の疾患(脳神経、脊髄神経、自律神経系)		12	2	0	2
	7 牛・馬の神経疾患		8	2	4	2
眼科学	1 眼科検査	1	10	3	1	2
	2 眼瞼、結膜、瞬膜の疾患		8	6	0	2
	3 角膜疾患		8	6	0	2
	4 ブドウ膜の疾患		8	6	0	2
	5 緑内障		8	6	0	2
	6 白内障、網膜・脈絡膜の疾患		8	6	0	2
	7 牛・馬の眼科疾患		4	6	4	2
画像診断学	1 X線撮影と読影の基礎	2	14	0	0	2
	2 X線造影検査法、内視鏡検査		7	7	0	2
	3 胸部1(正常解剖、気管、横隔膜の異常所見)		12	2	0	2
	4 胸部2(心臓・肺の異常像)		12	2	0	2
	5 頭部と頸部(正常解剖、頭蓋、鼻腔の異常所見)		12	2	0	2
	6 脊椎(正常解剖、先天性異常、椎間板ヘルニア)		12	2	0	2
	7 四肢と関節1(正常解剖、骨の疾患、骨折)		11	3	0	2
	8 四肢と関節2(発育期の異常、関節炎)		11	3	0	2
	9 腹部1(正常解剖、腹腔、食道、胃、肝臓、腸)		12	2	0	2
	10 腹部2(腎臓、尿管、膀胱、尿道、生殖器)		12	2	0	2
	11 超音波診断装置の原理と検査法		14	0	0	2
	12 心エコー図検査		8	4	2	2
	13 X線CT検査の原理と画像読影		14	0	0	2
	14 磁気共鳴画像法(MRI)検査の原理と画像読影		12	0	2	2
	15 核医学的画像診断法(シンチグラフィ、PET、SPECT)		7	0	8	1
放射線学	1 放射線物理学1(原子核、放射壊変、特性X線、制動X線、 α 線、 β 線、 γ 線)	2	12	3	1	0
	2 放射線物理学2(核反応、加速器)		10	5	1	0
	3 放射線物理学3(相互作用、電子、光子、中性子)		11	4	1	0
	4 放射線物理学4(放射線に関する量と単位)		11	4	1	0
	5 放射化学と放射線化学1(放射性同位体、天然放射性核種、人工放射性核種)		7	4	5	0
	6 放射化学と放射線化学2(過渡平衡、永続平衡、ミルキング、ラジオコロイド)		1	4	11	0
	7 放射化学と放射線化学3(放射分析、放射化分析、RIの利用)		3	7	6	0
	8 放射化学と放射線化学4(イオン化、G値、ラジカル、化学線量計)		2	6	8	0
	9 放射線生物学1(直接作用と間接作用、細胞分裂、細胞周期、SLD回復、PLD回復)		14	2	0	0
	10 放射線生物学2(組織の放射線影響、急性障害、確率的影響と確定的影響)		14	2	0	0
	11 放射線生物学3(晩発障害、発ガン、体内被曝、内部被曝、遺伝的影響)		14	2	0	0
	12 放射線生物学4(放射線治療、放射線感受性、アポトーシス、細胞内情報伝達)		13	3	0	0
	13 放射線測定(放射線検出器、放射能測定、線量測定)		12	3	1	0
	14 放射線管理(放射線防護、密封RIと非密封RIの取扱い、モニタリング)		14	2	0	0
	15 法令(定義、管理区域と事業所境界、線量限度、施設検査、放射線取扱主任者)		11	0	5	0
動物行	1 正常な行動の発達(主に問題行動の予防に適用するために必要な知識)		8	3	4	1
	2 ボディランゲージ、コミュニケーション(主に問題行動の原因、診断に適用するために必要な知識)		5	4	6	1
	3 学習理論:古典的条件付け、オペラント条件付けなど(主に行動治療に適用するために必要な知識)		5	4	6	1

動治療学	4 医学的原因と問題行動、行動治療に用いる薬物と作用	1	5	3	7	1
	5 問題行動:その診断、治療(犬、猫の攻撃行動など)		7	1	7	1
	6 問題行動:その診断、治療(犬、猫の不安、恐怖に関連する行動など)		7	1	7	1
	7 問題行動:その診断、治療(犬、猫の排泄問題、その他)		7	1	7	1
	1 内分泌疾患の臨床検査と治療		14	1	0	1
内分泌・代謝・中毒学	2 視床下部・下垂体、甲状腺、上皮小体の疾患	2	14	1	0	1
	3 副腎の疾患		14	1	0	1
	4 膵内分泌疾患(糖尿病、インスリノーマ)		13	2	0	1
	5 代謝性疾患(糖類、脂質、アミノ酸、ビタミン、微量元素、水・電解質)		10	4	1	1
	6 大動物の内分泌疾患(視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、糖尿病)		9	5	1	1
	7 大動物のミネラル代謝疾患(乳熱、ダウンナー牛症候群、くる病、グラステナー)		13	2	0	1
	8 大動物の糖・脂質代謝疾患(高脂血症、脂肪壊死症、ケトosis、肥満牛症候群)		13	2	0	1
	9 大動物の代謝性疾患(蛋白質、ビタミン、微量元素、水・電解質)		13	2	0	1
	10 中毒の診断と治療		7	7	1	1
	11 有毒植物による中毒 I		9	6	0	1
	12 有毒植物による中毒 II		9	6	0	1
	13 飼料による中毒		9	5	1	1
	14 農薬、化学物質による中毒		9	5	1	1
	15 伴侶動物が遭遇する中毒		4	2	9	1
	臨床繁殖学		1 生殖器の構造と機能:雌性生殖器、乳腺	4	16	0
2 生殖器の構造と機能:雄性生殖器		16	0		0	0
3 内分泌・ホルモン:雌雄の性腺		16	0		0	0
4 内分泌・ホルモン:視床下部、下垂体、胎盤		16	0		0	0
5 雌の繁殖生理:性成熟		15	1		0	0
6 雌の繁殖生理:発情周期、交配適期		15	1		0	0
7 雄の繁殖生理:性成熟		13	2		1	0
8 雄の繁殖生理:精子、精液の性状		14	1		1	0
9 交配、授精:性行動、環境、刺激		14	2		0	0
10 受精、着床:受精、胚発生		15	1		0	0
11 妊娠:妊娠診断		15	1		0	0
12 妊娠:妊娠経過、分娩		16	0		0	0
13 生殖工学:人工授精、発情同期化		15	0		0	1
14 生殖工学:胚移植、体外受精		15	0		0	1
15 繁殖障害:受精障害、早期胚死滅		14	1		0	1
16 繁殖障害:先天異常、低受胎		14	1		0	1
17 繁殖障害:リビートフリーダー、感染症		13	2		0	1
18 妊娠期の異常:流産、胎子死		13	1		1	1
19 妊娠期の異常:早産、産前、子宮脱		13	2		0	1
20 周産期の異常:周産期疾患		12	2		1	1
21 周産期の異常:難産、産道損傷		13	1		1	1
22 泌乳、乳房の疾患:乳房の構造、泌乳生理		8	6		1	1
23 泌乳、乳房の疾患:乳房炎		10	5		0	1
24 泌乳、乳房の疾患:乳房炎の防除		9	6		0	1
25 雄の繁殖障害:外部生殖器の疾患		15	0		0	1
26 雄の繁殖障害:生殖不能症		15	0		0	1
27 小動物の繁殖:犬、猫の繁殖生理		11	3		1	1
28 小動物の繁殖:犬、猫の繁殖障害と治療		8	3		4	1
29 野生動物の繁殖:繁殖生理、人工授精		5	7		3	1
30 総合臨床繁殖学:総括、解剖、生理、生殖工学、繁殖障害、乳房炎		1	0		14	1
臨床栄養学	1 動物に必要な栄養素(炭水化物、脂質、蛋白質)	2	13	1	2	0
	2 動物に必要な栄養素(ビタミン、ミネラル等)		13	1	2	0
	3 動物の消化器官と飼料の消化・吸収		12	3	1	0
	4 栄養素の利用と代謝		13	1	2	0
	5 エネルギーの利用と代謝		13	1	2	0
	6 飼養標準と飼料設計		10	3	3	0
	7 代謝プロファイルテストの目的と意義		6	2	8	0
	8 小動物における臨床栄養学の概念		6	2	7	1
	9 小動物のエネルギー要求量と栄養管理		6	3	6	1
	10 入院患者に対する栄養補給		2	4	9	1
	11 食餌療法(皮膚疾患、消化器疾患、肝疾患)		3	1	11	1
	12 食餌療法(膵内分泌機能不全、糖尿病、高脂血症)		4	0	11	1
	13 食餌療法(腎疾患、尿石症、心血管系疾患)		5	0	10	1
	14 食餌療法(骨関節疾患、口腔衛生)		2	1	12	1
	15 経腸栄養法、非経腸栄養法		1	2	12	1
臨床獣医学分野	1 乳牛・肉牛の繁殖管理プログラム	37	6	2	6	2
	2 乳牛の周産期代謝病の予防と治療		7	6	2	1
	3 TMRを中心とした飼養管理		7	4	4	1
	4 生産性向上のための環境改善		6	7	2	1
	5 乳房炎コントロールプログラム		5	9	1	1
	6 肉用子牛の事故低減と肉牛の肥育管理プログラム		6	7	2	1
	7 豚の繁殖管理プログラム		4	5	5	2
	8 離乳子豚・肥育豚管理プログラム		4	9	2	1
	9 豚の防疫管理プログラム		7	2	5	2
	10 馬の飼養管理(飼料、日常管理、厩舎環境、衛生対策)		3	3	9	1
	11 馬体の構造と機能		2	4	9	1
	12 馬の骨・関節の疾患		9	4	2	1
	13 馬の蹄疾患		11	2	2	1
	14 採卵鶏・ブロイラーの生産システムと疾病の防除対策		6	9	1	0
	15 ミツバチの疾病と治療		2	4	9	1
泌尿器病・生殖器病学	1 泌尿器・生殖器の構造と機能・尿路系手術の特徴	2	9	4	1	2
	2 泌尿器疾患の臨床徴候		11	2	1	2
	3 泌尿器疾患の診断法 I (画像診断・膀胱鏡検査・排尿異常の検査)		3	7	4	2
	4 泌尿器疾患の診断法 II (腎機能検査・尿検査)		9	3	2	2
	5 腎不全		11	3	0	2
	6 先天性腎疾患と嚢胞性腎疾患		1	4	9	2
	7 腎炎(糸球体疾患・尿細管間質性腎炎)		10	3	1	2
	8 尿路感染症と前立腺の疾患		6	7	1	2
	9 先天性尿路・生殖器異常と膀胱・尿道の疾患		4	8	2	2

歯科・口腔外科学	3 幼若動物の歯牙疾患(矯正歯科)	1
	4 歯周病	
	5 歯内治療学、補綴学、馬・牛・エキゾチックペットの歯科学	
	6 口腔内の疾患:口蓋裂、乳歯遺残、顎骨骨折、腫瘍	
	7 拔牙	
手術学	1 消毒法1:手指の消毒、術野の消毒、器具・機材の消毒	2
	2 消毒法2	
	3 止血法・駆血法、血行遮断法、体外循環法	
	4 組織分割法:切開、鈍性分離、電気メスの原理	
	5 体表の手術:皮膚形成、植皮術	
	6 管腔臓器の手術の基本手技:食道、胃、腸管、膀胱など	
	7 実質臓器の手術の基本:肝臓、腎臓、脾臓、肺など	
	8 骨、軟骨、腱、靭帯の手術の基本手技	
	9 術後管理	
	10 軟部外科(胸部)	
	11 軟部外科(腹部)	
	12 整形外科(骨折、骨疾患)	
	13 整形外科(関節疾患)	
	14 神経外科(脳)	
	15 神経外科(脊髄)	
麻酔学	1 循環の管理、呼吸の管理:人工呼吸法、酸素療法	1
	2 注射麻酔	
	3 吸入麻酔	
	4 疼痛管理1:鎮痛薬(オピオイド剤)、非ステロイド性消炎剤	
	5 疼痛管理2:局所麻酔薬	
	6 各種モニター法、周術期の麻酔管理:呼吸、循環、栄養の管理	
	7 蘇生法、安楽死	
計		94

3	5	6	2
8	6	0	2
2	7	5	2
12	2	0	2
5	7	2	2
13	1	0	2
12	2	0	2
10	4	0	2
8	5	1	2
8	6	0	2
9	5	0	2
9	5	0	2
8	6	0	2
7	7	0	2
10	4	0	2
8	5	1	2
9	3	2	2
10	3	1	2
9	4	1	2
10	4	0	2
9	4	1	2
11	3	0	2
12	2	0	2
10	4	0	2
12	2	0	2
9	5	0	2
8	5	1	2

2 実習及び卒業論文・臨床研究

解剖学 実習	1 骨学実習 I (頭部、体幹の骨)	2	15	0	1	0
	2 骨学実習 II (前肢、後肢の骨)		15	0	1	0
	3 関節学実習		12	3	1	0
	4 筋学実習 I (頭部の筋)		16	0	0	0
	5 筋学実習 II (咽頭、喉頭部の筋)		16	0	0	0
	6 筋学実習 III (体幹表層と上腕の筋)		16	0	0	0
	7 筋学実習 IV (前腕の筋)		16	0	0	0
	8 筋学実習 V (頸胸部と腹部の筋)		16	0	0	0
	9 筋学実習 VI (大腿の筋)		16	0	0	0
	10 筋学実習 VII (下腿の筋)		16	0	0	0
	11 内臓学実習 I (頭部、頸部の臓器)		16	0	0	0
	12 内臓学実習 II (胸腔内臓器)		16	0	0	0
	13 内臓学実習 III (腹腔内臓器)		16	0	0	0
	14 内臓学実習 IV (骨盤内臓器)		16	0	0	0
	15 脈管学実習 I (頭部、脳の血管)		16	0	0	0
	16 脈管学実習 II (頸部の血管)		16	0	0	0
	17 脈管学実習 III (胸部の血管、胸管)		16	0	0	0
	18 脈管学実習 IV (心臓)		16	0	0	0
	19 脈管学実習 V (腹腔の血管)		16	0	0	0
	20 脈管学実習 VI (前肢の血管)		16	0	0	0
	21 脈管学実習 VII (後肢の血管)		16	0	0	0
	22 神経学実習 I (脳)		16	0	0	0
	23 神経学実習 II (頭部の神経)		15	1	0	0
	24 神経学実習 III (頸部の神経)		15	1	0	0
	25 神経学実習 IV (胸部の神経)		15	1	0	0
	26 神経学実習 V (腹腔の神経)		15	1	0	0
	27 神経学実習 VI (前肢の神経)		15	1	0	0
	28 神経学実習 VII (後肢の神経)		15	1	0	0
	29 鶏の骨学実習		10	3	3	0
	30 鶏の解剖学実習		13	0	3	0
組織学 実習	1 組織学のための染色法	2	4	7	5	0
	2 上皮組織		12	2	2	0
	3 結合組織		11	3	2	0
	4 支持組織(骨組織・軟骨組織)		14	0	2	0
	5 筋組織		14	0	2	0
	6 血液・骨髄		10	1	5	0
	7 動脈・静脈・毛細血管・リンパ管		15	0	1	0
	8 バイエル板・リンパ節・扁桃		14	0	2	0
	9 脾臓・胸腺		15	0	1	0
	10 歯・唾液腺		14	1	1	0
	11 咽頭・舌・食道		16	0	0	0
	12 胃・小腸・大腸		16	0	0	0
	13 肝臓・胆嚢・膵臓		16	0	0	0
	14 鼻道・喉頭		14	0	2	0
	15 気管・肺		16	0	0	0
	16 腎臓・尿管・膀胱		16	0	0	0
	17 精巣・精巣上体・精管		15	0	1	0
	18 副生殖腺・陰茎		14	0	2	0
	19 卵巣・卵管		15	0	1	0
	20 子宮・胎盤・臍		14	0	2	0
	21 視床下部・下垂体		15	0	1	0
	22 副腎・甲状腺・上皮小体		15	0	1	0
	23 松果体・膵島・胃腸内分泌細胞		15	0	1	0
	24 眼・耳		11	1	4	0
	25 皮膚・皮膚腺・乳腺		14	1	1	0
	26 大脳・小脳		16	0	0	0
	27 脊髄・神経終末		15	0	1	0
	28 鶏の組織学 I (血液・骨髄・消化器系・呼吸器系)		3	2	11	0
	29 鶏の組織学 II (泌尿生殖器系・脈管系・リンパ系)		4	2	10	0
	30 鶏の組織学 III (内分泌系・感覚器系・神経系・外皮)		1	3	12	0
生理学 実習	1 中枢神経	2	9	2	5	0
	2 末梢神経		10	0	6	0
	3 骨格筋/平滑筋		12	0	4	0
	4 内分泌		13	1	2	0
	5 代謝		12	0	4	0
	6 呼吸		7	0	9	0
	7 循環/血液		16	0	0	0
	8 消化/吸収		13	0	3	0
	9 泌尿/排泄		8	0	8	0
	10 生殖		6	0	10	0
生化学 実習	1 緩衝液とpH	1	6	1	9	0
	2 糖質の定性、定量		10	0	6	0
	3 脂質の定性、定量		4	0	12	0
	4 タンパク質の定性、定量		14	0	2	0
	5 酵素活性の測定		12	2	2	0
	6 DNA解析		11	0	5	0
	7 RNA解析		6	0	10	0
	8 塩析と脱塩		4	4	8	0
	9 電気泳動法とデンストメトリー		11	2	3	0
	10 クロマトグラフィー		7	0	9	0
薬理学	1 受容体拮抗薬の効力比較(pA2、pD2、ED50値の求め方)	12	9	3	3	1
	2 生物学的定量(例:カエル腹直筋標本を用いたアセチルコリンの定量)		4	4	7	1
	3 二重盲検法と薬効判定(例:暗算作業効率におよぼすカフェインの効果)		1	2	12	1
	4 中枢神経抑制薬の作用		13	0	2	1
	5 中枢神経興奮薬の作用		13	0	2	1
	6 鎮痛薬の作用		10	1	4	1
	7 局所麻酔薬の作用		2	2	11	1

薬性学 実習	8 自律神経系に作用する薬物(1) 血圧	2	12	0	3	1		
	9 自律神経系に作用する薬物(2) 心臓		11	0	4	1		
	10 自律神経系に作用する薬物(3) 消化管平滑筋		12	0	3	1		
	11 血管系に作用する薬物		11	0	4	1		
	12 呼吸器系に作用する薬物		1	1	13	1		
	13 血小板凝集に作用する薬物		2	0	13	1		
	14 消化器系に作用する薬物		9	0	6	1		
	15 腎臓に作用する薬物		3	1	11	1		
	病理学 実習		1 病理学の方法	2	15	1	0	0
			2 実験動物の病理解剖		13	3	0	0
			3 中型動物の病理解剖		15	1	0	0
			4 大型動物の病理解剖		15	1	0	0
			5 手術材料の検査(生検)		15	1	0	0
			6 退行性変化		15	1	0	0
			7 進行性変化		15	1	0	0
8 循環障害		16	0		0	0		
9 炎症細胞		16	0		0	0		
10 炎症		16	0		0	0		
11 腫瘍		16	0		0	0		
12 先天異常・奇形		14	2		0	0		
13 ウイルス感染症		15	1		0	0		
14 細菌感染症		15	1		0	0		
15 真菌感染症		15	1		0	0		
16 免疫介在性疾患		14	2		0	0		
17 アレルギー性疾患		14	2		0	0		
18 循環器系の病変		16	0		0	0		
19 造血管系の病変		16	0		0	0		
20 呼吸器系の病変		16	0		0	0		
21 消化器系の病変		16	0		0	0		
22 肝・脾の病変		16	0		0	0		
23 泌尿器系の病変		16	0		0	0		
24 生殖器系の病変		16	0		0	0		
25 内分泌系の病変		16	0		0	0		
26 神経系の病変		16	0		0	0		
27 感覚器系の病変		16	0		0	0		
28 筋肉の病変		16	0		0	0		
29 骨の病変		16	0		0	0		
30 皮膚の病変		12	1		3	0		
実験動物学 実習	1 動物実験の手続き(1) 動物実験計画書の作成	1	9	1	2	4		
	2 動物実験の手続き(2) 模擬動物実験委員会		9	1	2	4		
	3 小型げっ歯類の保定法、投与方法、部分採血法		9	2	1	4		
	4 小型げっ歯類の麻酔法、全採血法、安楽死法		8	2	2	4		
	5 ウサギの取扱い(保定、投与、部分採血、麻酔、安楽死)		3	7	2	4		
	6 イヌ・ブタ(ミニブタ)の取扱い(保定、投与、部分採血、麻酔、安楽死)		2	6	4	4		
	7 サル類の取扱い(保定、投与、部分採血法、麻酔法、安楽死法)		2	2	8	4		
	8 小型げっ歯類の微生物検査法(1) 剖検・採材		8	3	1	4		
	9 小型げっ歯類の微生物検査法(2) PCR法		6	6	0	4		
	10 小型げっ歯類の微生物検査法(3) ELISA法		6	5	1	4		
	11 小型げっ歯類の微生物検査法(4) 病理組織標本の観察		8	3	1	4		
	12 小型げっ歯類の遺伝的検査法(1) マイクロサテライトを利用した方法		5	5	2	4		
	13 小型げっ歯類の遺伝的検査法(2) 生化学的標識遺伝子を利用した方法		7	3	2	4		
	14 小型げっ歯類の行動試験(1) 高架式十時迷路試験		3	2	7	4		
	15 小型げっ歯類の行動試験(2) 水迷路試験		3	2	7	4		
微生物学 実習	1 病原微生物を取り扱うための基礎知識:無菌操作、滅菌、殺菌、消毒	2	15	0	0	1		
	2 細菌の培養法:固形培地、液体培地、培地の作成と接種		14	1	0	1		
	3 細菌の形態的観察:コロニー観察と純培養		13	2	0	1		
	4 細菌の形態的観察(染色法):グラム染色、		13	1	1	1		
	5 細菌の特殊染色:芽胞染色、鞭毛染色		10	3	2	1		
	6 細菌の培養と増殖曲線:各種選択培地による好気性培養法		6	5	4	1		
	7 腸内細菌同定法:増殖培養、分離培養		10	3	2	1		
	8 腸内細菌同定法:生化学的性状検査		10	3	2	1		
	9 腸内細菌同定法:試験管内凝集、スライド凝集		9	3	3	1		
	10 嫌気性培養:ガスバック、卵黄反応		3	2	10	1		
	11 薬剤耐性:ディスク法と希釈法		9	0	6	1		
	12 薬剤耐性:プラスミドによる形質転換		4	3	8	1		
	13 実験動物への感染実験:細菌の検出と同定、菌数測定、採血法など		3	2	10	1		
	14 組織培養法の基礎(動物細胞、ニワトリ繊維芽細胞)		14	0	1	1		
	15 ウイルス培養法:増殖試験、力価の測定、CPEなど		11	3	1	1		
	16 ウイルスの中和試験		2	9	4	1		
	17 ウイルスの検出:蛍光抗体法		5	3	7	1		
	18 ウイルスの培養:発育鶏卵接種法		6	4	5	1		
	19 血清診断法:ELISAによる抗体価の測定		5	4	6	1		
	20 血清診断法:ゲル内沈降反応		5	5	5	1		
	21 血清診断法:赤血球凝集試験、赤血球凝集抑制試験		13	1	1	1		
	22 血清診断法:補体結合反応		9	4	2	1		
	23 遺伝子診断法:PCR法		3	0	12	1		
環境衛生 実習	1 室内空気の衛生:気動、感覚温度、湿度、気温、かた温度計など	1	3	4	5	4		
	2 室内の衛生:落下細菌、換気、塵埃など		3	4	5	4		
	3 大気の衛生:風速、気温、湿度、検知管法など		3	5	4	4		
	4 飲料水の衛生 I:細菌学的検査(一般細菌数、大腸菌数、MPN)		8	5	1	2		
	5 飲料水の衛生 II(硝酸・亜硝酸窒素、硬度)		7	4	3	2		
	6 飲料水の衛生 III(塩化物イオン・残留塩素)		7	4	3	2		
	7 下水と汚水の衛生 I:DO、COD、SS		7	3	2	4		
	8 下水と汚水の衛生 II:BOD		5	5	2	4		
	9 施設見学:浄水場と終末処理場の見学		4	0	8	4		
	10 環境影響評価:藻類成長阻害試験、ミジンコ急性遊泳阻害試験、内分泌攪乱物質受容体結合試験など		0	0	12	4		
	11 環境汚染物質の検出:変異原性試験、Rec assayなど		2	0	10	4		
	12 施設見学(環境衛生研究所、保健所)		5	0	8	3		

応用獣医学分野	実習科目	実習内容	単位数	履修者数			
				10	1	0	5
動物衛生学実習	1	1 衛生検査法概要: 獣医衛生学実習における一般注意事項と安全確保	8	10	1	0	5
		2 産業動物の生産病に関する問題点とその予防対策の演習		3	2	6	5
		3 疾病予防: 例(下痢症)聞き取り調査と採材		2	2	7	5
		4 疾病予防: 例(下痢症2): 原因菌の分離, 同定, 解析		2	2	7	5
		5 管理衛生: 例(乳房炎): 聞き取り調査と予防対策, PLテスト		3	2	6	5
		6 管理衛生: 例(乳房炎): 原因菌の分離・同定, 薬剤感受性試験		4	0	7	5
		7 飼養衛生: 例(飼料の性状調査)分類, 鑑定法		3	0	8	5
		8 施設見学: 草地管理, 畜産試験場, 化成場, 家畜保健所など		6	0	5	5
		1 実習オリエンテーション: 毒性実習における一般注意事項と安全性の確保		12	0	0	4
		2 行動毒性試験: 行動異常の観察, 実験的カタルプシーなど		5	0	7	4
		3 臓器毒性試験: 肝毒性試験, 腎毒性試験, 消化器毒性試験など		7	1	4	4
		4 急性毒性試験: 有機リン化合物の中毒と解毒, 血中コリンエステラーゼ活性など		5	1	6	4
5 変異原性試験: 染色体異常の観察, マウス小核法, Ames試験など	9	0	3	4			
6 特殊毒性試験: 皮膚毒性試験, 血液毒性試験	2	3	7	4			
7 解毒酵素誘導試験: 解毒酵素誘導, ラット肝臓S9の調整, 異物代謝活性測定	3	0	9	4			
寄生虫・寄生虫病学実習	1	1 実習ガイダンス: 寄生虫検査における一般注意事項と安全確保	1	14	1	0	1
		2 原虫類の観察		14	1	0	1
		3 線虫類の観察		14	1	0	1
		4 吸虫類の観察		14	1	0	1
		5 糸虫類の観察		14	1	0	1
		6 外部寄生虫の観察		11	0	4	1
		7 寄生虫卵検査法: 浮遊法, 沈澱法, EPG, 便培養, 血液検査, 厚層塗抹法など		14	1	0	1
		8 寄生虫検査法: 便培養, 血液検査法, 厚層塗抹法など		12	0	3	1
		1 食肉の細菌学的検査: 細菌数測定 (サルモネラ, 大腸菌)		9	4	2	1
		2 食肉の医薬品残留検査(微生物検査法, HPLC法)		5	2	8	1
3 動物性食品の鮮度検査(官能検査, 揮発性塩基窒素)	8	0	7	1			
4 BSE検査(ELISA法)	6	3	6	1			
5 食肉検査(マクロ病理学: ウシ編/ブタ編/鶏編)	10	2	3	1			
6 人獣共通感染症: 診断試料の調整法(血清試料/細菌用試料/ウイルス試料/DNA試料)	13	1	1	1			
7 人獣共通感染症の診断法: 免疫蛍光抗体法/PCR	10	1	4	1			
8 人獣共通感染症の血清診断法I: 急速凝集反応, 試験管凝集反応, 補体結合反応	9	3	3	1			
9 人獣共通感染症の血清診断法II: ELISA法など	8	1	6	1			
10 施設見学(検査所/食肉衛生検査所/保健所)	13	0	2	1			
食品衛生学実習	1	1 実習全般のガイダンス: バイオハザード/ケミカルハザード, 試料の調整, 滅菌, 消毒	1	13	1	2	0
		2 食品添加物の検査I(亜硝酸ナトリウム, 保存料)		5	1	10	0
		3 食品添加物の検査II(合成着色料)		6	2	8	0
		4 乳の物理化学的検査(比重, 乳脂率, 無脂乳固形分など)		13	2	1	0
		5 乳の細菌学的検査I(レサズリン還元試験, プリード法)		12	1	3	0
		6 乳の細菌学的検査II(一般細菌数, 大腸菌)		13	2	1	0
		7 乳の抗生物質残留検査(TTC法)		11	0	5	0
		8 食中毒検査: 培養と同定(サルモネラと大腸菌)		8	4	4	0
		9 食中毒検査: 培養と同定(腸炎ビブリオ)		4	5	7	0
		10 食中毒検査: 培養と同定(キャンピロバクター)		2	4	10	0
		11 食中毒検査: 培養と同定(嫌気性菌: ウエルシュ菌)		6	4	6	0
		12 食中毒検査: 培養と同定(ブドウ球菌, ELISA)		8	3	4	1
画像診断学実習	1	1 X線装置による撮影方法(ポジション, 方向, 条件)	1	13	0	1	2
		2 X線造影検査(食道・上部消化管造影, 排泄性尿路造影, 膀胱二重造影)		10	2	2	2
		3 内視鏡検査(食道, 胃, 十二指腸, 直・結腸)		8	2	4	2
		4 超音波検査(腹腔臓器)		13	1	0	2
		5 心エコー図検査		8	5	1	2
		6 X線CT検査の実際		8	5	1	2
		7 磁気共鳴画像法(MRI)の実際		6	5	3	2
		8 X線写真の読影1(頭部, 頸部)		7	4	3	2
		9 X線写真の読影2(胸部)		9	4	1	2
		10 X線写真の読影3(腹部)		9	4	1	2
		11 X線写真の読影4(運動器)		7	4	3	2
		12 X線CT画像の読影		8	5	1	2
		13 MRI画像の読影		6	5	3	2
放射線学実習	1	1 非密封放射性同位元素の放射線の種類とその測定法(α , β , γ 線)	1	4	1	10	1
		2 非密封性RIの安全取扱いに関する実習(貯蔵, 使用, 廃棄, 施設基準)		3	0	12	1
		3 非密封性RIにおける汚染検査の実際(直接法, 間接法, スメア法, 除染, 核種同定)		2	1	12	1
		4 X線発生装置の基礎と診療用高出力放射線装置の構造と原理		4	1	10	1
		5 X線発生装置のX線線量の測定法(照射線量, 吸収線量, 線量分布)と散乱線		4	1	10	1
		6 放射線の遮蔽と防護(遮蔽材, 半価層, 1/10価層)		4	2	9	1
		7 放射線の生物への影響1(生存率や染色体異常)		3	0	12	1
		8 放射線の生物への影響2(細胞周期, アポトーシス, 細胞内情報伝達)		2	0	13	1
		9 放射線の生物への影響3(個体に対する影響, 末梢血の変動, LD50(30))		2	0	13	1
		10 生化学実験(3H, 14C, 35S, 32Pなどの核種を利用した取込実験, トレーサー実験)		1	2	12	1
		11 放射化学分離・分析		0	2	13	1
		12 放射線治療の基礎(酸素効果, SLD回復, PLD回復, ヒット理論)		2	4	9	1
		13 核医学の基礎, シンチグラフィ, SPECT, PETの撮像原理とその取扱い		0	0	15	1
繁殖学実習	1	1 生殖器の構造: 牛, 馬, 豚, 犬, 猫	1	13	1	1	1
		2 雌の繁殖機能検査: 外陰部, 腔, 子宮, 頸管粘液, 直腸検査		13	2	0	1
		3 雌の繁殖機能検査: 超音波検査, 性ホルモン測定		9	3	3	1
		4 発情診断: 発情行動, 生殖器, 頸管粘液, 直腸検査, 超音波検査		14	1	0	1
		5 人工授精: 雄の性行動, 精液検査, 精液の希釈と保存, 人工授精		15	0	0	1
		6 胚移植: 発情同期化, 過剰排卵処置, 胚の回収と検索		14	0	1	1
		7 胚移植: 体外受精, 凍結保存, 胚移植		14	0	1	1
		8 妊娠診断: 直腸検査, 腔検査, 頸管粘液		12	3	0	1
		9 妊娠診断: 性ホルモン測定, 超音波検査		11	2	2	1
		10 妊娠・分娩管理: 人工流産と分娩誘起		2	3	10	1
		11 雌の繁殖障害: 診断, 直腸検査, 子宮洗浄, 卵管疎通検査		11	3	1	1
		12 雄の繁殖障害: 診断, 生殖器検査, 性ホルモン検査		8	3	4	1
		13 妊娠期の異常: 流産検査, 腔鏡, 子宮脱		0	7	8	1
		14 周産期の異常: 正常分娩, 難産介助, 帝王切開		10	2	3	1
		15 乳房炎: 臨床検査, 乳汁検査		9	3	3	1
1	1	1 牧場の概要(施設の説明)	1	12	0	1	3
		2 家畜の取扱い(捕獲, 保定, ロープの結び方)		8	3	2	3

農場実習(インターンシップ含む)	3	体重測定	1	8	4	1	3	
	4	搾乳衛生(搾乳、ミルカーの清掃)		9	1	3	3	
	5	乳牛の審査(体尺測定)、豚の審査		8	4	1	3	
	6	ボディコンディション・スコアの意義と判定法		3	2	8	3	
	7	家畜管理(除角、去勢、鼻輪)		3	5	5	3	
	8	飼料給与(濃厚飼料、粗飼料)		11	1	1	3	
	9	草地学		8	4	1	3	
	10	農作業機械の説明と運転実習		3	0	10	3	
	11	乾草・サイレージ調整と収納		10	2	1	3	
	12	放牧地の施肥管理		7	4	2	3	
	13	牛舎構造(作業性、安全性、暑熱対策)		7	5	1	3	
	14	糞尿管理		4	2	7	3	
	臨床獣医学分野 一般診断・治療学実習	1	結論(動物の外観と個体識別、診療記録・診断法の概要)		10	2	1	3
		2	小動物の取り扱い・保定法(犬猫)		13	0	0	3
3		大動物の取り扱い・保定法(牛・山羊・羊)		10	0	3	3	
4		大動物の取り扱い・保定法(馬)		3	1	9	3	
5		犬の身体所見		13	0	0	3	
6		犬の身体所見、心電図、心音図		7	5	1	3	
7		猫の身体所見		8	4	1	3	
8		猫の身体所見、心電図、心音図		5	6	2	3	
9		牛の身体所見		12	0	1	3	
10		牛の身体所見、心電図・心音図検査		4	7	2	3	
11		馬の身体所見		4	2	7	3	
12		馬の身体所見、心電図・心音図検査		2	3	8	3	
13		うさぎ、鳥類、エキゾチックの身体検査		0	0	13	3	
14		小動物の生体材料の採取(静脈血、動脈血)	2	12	0	1	3	
15		大動物の生体材料の採取(静脈血、動脈血)		12	0	1	3	
16		呼吸器の検査		3	2	8	3	
17		小動物の消化器の検査		5	1	7	3	
18		大動物の消化器の検査		8	0	5	3	
19		腎・泌尿器の検査		12	0	1	3	
20		生殖器の検査		10	0	3	3	
21		骨髄生検とその他の生体材料の採取		8	4	1	3	
22		薬剤投与方法(経口投与、非経口投与、他)		7	0	6	3	
23		注射法(小動物)		11	0	2	3	
24		注射法(大動物)		9	1	3	3	
25		輸血と輸液		7	2	4	3	
臨床病理学実習	1	血液一般検査		13	0	0	3	
	2	血液塗抹標本の作製と鏡検法		13	0	0	3	
	3	凝固系検査法		6	2	5	3	
	4	免疫介在性疾患の検査法		3	2	8	3	
	5	血清タンパク質の分析法		3	4	6	3	
	6	血液化学検査と検査値の評価		12	1	0	3	
	7	肝臓機能検査		5	5	3	3	
	8	膵臓機能検査		4	3	6	3	
	9	第一胃内容液検査・糞便検査		8	0	5	3	
	10	血液ガス、酸塩基平衡		2	1	10	3	
	11	腎機能検査		9	2	2	3	
	12	尿検査		12	0	1	3	
	13	内分泌検査		9	0	4	3	
	14	皮膚の各種検査		12	0	1	3	
	15	骨髄穿刺標本の評価法		9	2	2	3	
	16	細胞診		6	4	3	3	
	17	総括		13	0	0	3	
手術学実習	1	消毒法と滅菌法(手指、術野の消毒、器具器材の滅菌法、帽子・マスク並びにガウンの着用)		12	2	0	2	
	2	手術手技の基本I(切開・止血・縫合法)		14	0	0	2	
	3	手術手技の基本II(体表切開、止血法、縫合法)		13	0	0	3	
	4	術前の管理(生理学的評価:血液検査、聴診法、触診法、打診法、体重測定、心電図検査)		13	1	0	2	
	5	術中の管理(モニター法、輸液療法)		9	5	0	2	
	6	術後の管理(術創の管理、輸液管理、リハビリテーション)		6	7	1	2	
	7	手術手技I(中空臓器:胃、小腸、膀胱等)	2	11	3	0	2	
	8	手術手技II(実質臓器:肝臓、脾臓、腎臓等)		11	3	0	2	
	9	手術手技III(運動器:骨、関節へのアプローチ法、骨接合法等)		11	3	0	2	
	10	手術手技IV(胸腔内臓器:開胸術、肺葉切除等)		10	4	0	2	
	11	手術手技V(耳道切開、総耳道切除、皮膚形成外科)		7	7	0	2	
	12	産業動物の保定法		12	1	0	3	
	13	産業動物の消化器疾患(第四位変位整復術、第一胃切開術)		11	1	1	3	
	14	蹄病の診断と処置法		8	1	3	3	
麻酔学実習	1	呼吸管理と循環管理(静脈ルートの確保、気管内挿管等)		7	5	2	2	
	2	人工呼吸法(換気法、体液バランス分析、血液ガス分析)		8	5	1	2	
	3	各種モニター法		9	3	2	2	
	4	鎮静法と疼痛管理		12	2	0	2	
	5	麻酔法I(局所、注射)		13	1	0	2	
	6	麻酔法II(吸入)		13	1	0	2	
	7	蘇生法(心肺蘇生、不整脈の対処法)		8	2	4	2	
総合臨床実習(臨床ローテーション方式)		小動物・産業動物の皮膚、神経、呼吸器、循環器、運動器、血液・代謝、耳鼻眼科、口腔、消化器、泌尿器、生殖器の診断・治療、栄養指導	8	12	2	0	2	
計				39				